

私たちみんな、
海から生まれた——

ここにいる、生きている。

消えゆく海藻の森に導かれて

横浜国際映画祭 2025
YOKOHAMA INTERNATIONAL
FILM FESTIVAL
正式出品

文部科学省選定
(青年向き・成人向き・家庭向き)



124499

「海が死んでいる。」



ある日、地元のサーファーがこう話すのを耳にした長谷川友美監督は、たった一人でカメラを担ぎ、導かれるように海から海へと撮影を重ねていった。やがてダイビングのライセンスを取得し、水面下に潜った彼女が目にした世界とは——。



日本の海からコンブが消える? 海の砂漠化が問いかける、自然と人の新たな関係。

「海の砂漠化」
って何だろう?

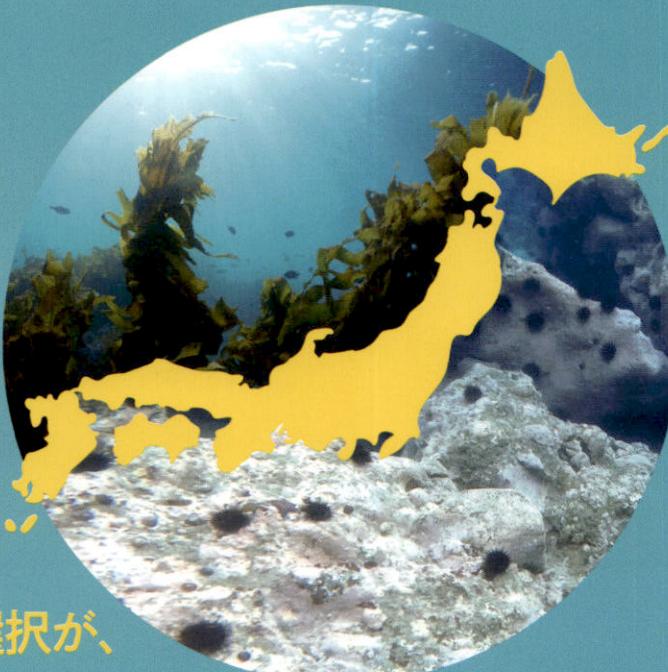
日本の海岸には、コンブやワカメなど、約1500種類もの多様な海藻が生息しているといわれています。

海の砂漠化とは、海中に広がる「海藻の森」が減少し、まるで砂漠のような状態になってしまう現象のことです。一般的に「磯焼け(いそやけ)」と呼ばれています。

私たち世代の選択が、
未来を変える。

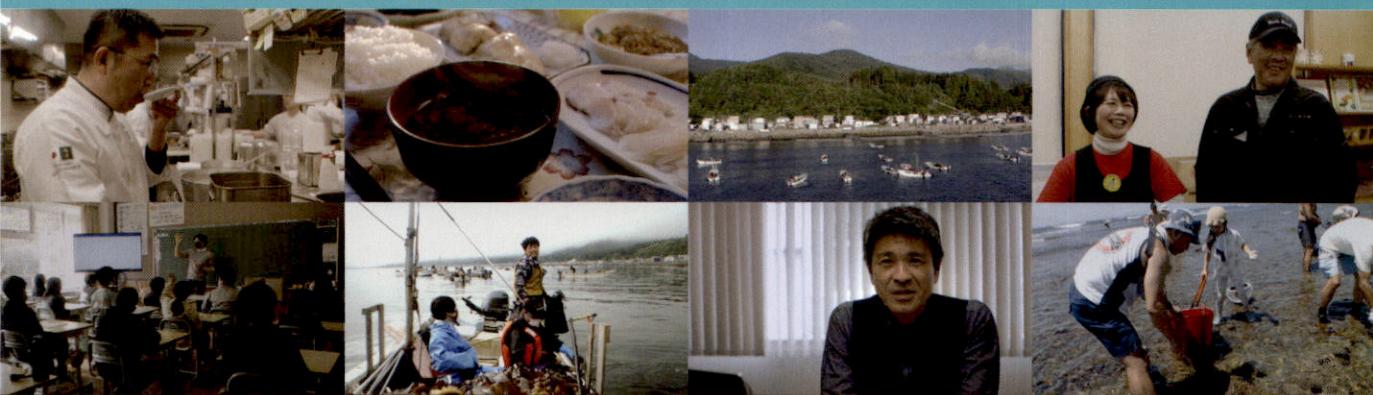
海の異変を学び、これからヒントを探す旅へ。さあ、出発です。

海のゆりかごとも呼ばれる海藻。その海の命を育む「海藻の森」が、ここ数年、全国各地の海で急速に砂漠化している。このままでは、海の生態系全体の存続が危ぶまれる。地球温暖化が肌で感じられ、気候変動が刻々と進む今、私たちは「どんな未来」を次の世代へと手渡してゆくのか。海とゆかりのなかつたひとりの映画監督が、何かに突き動かされるように日本列島の沿岸部に足を運び、そこに住む子どもたち、漁師、研究者と語り合った。海辺に住む人も、海のない街に住む人も、日本に住むすべての人必見のドキュメンタリー。



目に見えない限り人の行動は変わらない。
この映画を通して多くの人が海の変化を知り、
未来を変えていく力になることを願います。

フリーダイバー(2012年フリーダイビング日本代表選手) 武勝由紀



【監督・撮影・編集・ナレーション】長谷川友美 【音楽】アンハートリー 【プロデューサー】大野裕子・大野康介 【製作】株式会社 No.0 【配給宣伝】one's(一般社団法人映像文化革新機構)
【宣伝協力】安藤亘(ECOS技術士事務所) 【後援】国立環境研究所/ジャパンブルーエコノミー技術研究組合/北海道函館市/港湾空港技術研究所/神奈川県逗子市
文部科学省選定(青年・成人・家庭向き) 2024年 | 1:1.85 | 103分 | 5.1ch | DCP

umimori_cinema umimori_cinema https://umi-mori.com

